



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〈第四六一号〉

雨水

二月十九日

賓日館、休館へ

伊勢市二見浦に「賓日館」という建物があります。夫婦岩の直ぐ近く、二見の海に面した格調高い建物です。伊勢神宮に参拝する賓客（丁重に扱わなくてはならない客人）の休養・宿泊施設として明治時代に建てられたもの。来年度から耐震工事並びに文化財修復工事に入るため、三月から休館になります。工期は六年を予定していますので、一般公開は二月末までになります。

「賓日館」は明治二十年、伊勢神宮に参拝する皇族方や各界の要人が休憩、宿泊する施設として伊勢神宮の崇敬団体である神苑会が建設しました。この名は「賓客の泊まる日の昇る館」に由来するといえます。なんでも明治天皇の母にあたる英照皇太后の宿泊に間に合うように明治十九年一二月に着工し、翌年二月一九日に竣工したとか。これほどの短期間の工期で完成させたとは驚きました。皇太后をお迎えしたいという当時の人々の意気込みがうかがえます。また大正天皇が幼少期、水泳訓練を兼ねて滞在されるなど、まさにVIPの宿でした。二見館を経て、現在は伊勢市の資料館として、一般公開されてきました。二階の格天井の大広間、日本庭園に面した座敷、部屋の欄間なども精緻な細工が施され、当時の匠の技を今に伝えます。

開館している二月末までは、所蔵するひな人形を飾る「ひなまつり」が開催されています。例年は二月から「おひなさまめぐり in 二見」が開かれていましたが、昨年で休止。所蔵するおひな様のほとんどは三重県各地のひなまつり開催地や希望者に譲りましたが、一部残ったおひな様を飾ります。

しばらく休館する賓日館、この機会にぜひ訪れておきたいものです。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ おかげ横丁 ひなまつり

女の子の健やかな成長と幸せを祈るひなまつり。おかげ横丁にも華やかなひな人形たちが登場し、ひな飾りを愛でながら歩いて回るのも心浮き立つひとときです。

春の訪れを喜び、季節の移り変わりを皆様でお祝いしましょう。

日 時／2月21日(土)～3月3日(火) 10:00～17:00 (催しによって異なる)

場 所／おかげ横丁一帯

● お雛さまに大変身

十二単風の衣装でお雛様、東帯衣装を着てお内裏様になりきって記念撮影していただきます。

日 時／2月21日(土)～3月3日(火) 10:00～17:00

場 所／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

体験料／2,000円(税込)(内容:衣装レンタル、着付け、チェキ1枚、手形アート台紙1枚)

※衣装レンタルのみ 1,500円(税込) 写真や台紙はつきません。

● ひなまつり限定料理

おかげ横丁の料理店では、ひなまつりに因んだ料理をお楽しみいただけます。

日 時／2月28日(土)～3月3日(火) 各店舗営業時間内

場 所／すし久、海老丸、とうふや、野あそび棚、団五郎茶屋、
招福茶屋、はいからさん

●

阿部夫美子 横丁和紙雛めぐり

伊勢の地で独自の美の世界を創造し続けた和紙人形作家・阿部夫美子さん。今までに作り上げてきた和紙の雛人形を、おかげ横丁の各店舗に展示いたします。

日 時／2月21日(土)～3月3日(火) 各店舗営業時間内

場 所／おかげ横丁各店舗

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」 電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ 日本各地の伊勢信仰

日本全国に伊勢信仰が浸透したのは御師の活躍があります。11世紀頃から朝廷の権威が衰えて、公領や荘園からの取り立てを行い、下級禰宜たちが全国に派遣されました。その後武家や豪農などが経済力を握り、潮流にうまく乗った御師たちは津々浦々にまで出かけていき、伊勢講などの仕組みを作り、江戸時代には伊勢信仰は全人口の9割に上ったそうです。太平洋戦争などもありましたが、昭和の時代までは伊勢神宮への崇敬の念はあちこちに残っていました。山中先生は主に東日本各地に残る伊勢信仰の足跡に出会われたそうで、いかにお伊勢さんが皆に慕われていたのか、お話を伺います。

日 時／2月20日(金) 13:30～15:00

講 師／山中 一孝(豆腐庵山中代表取締役)

参加費／一般 1,500円 会員 1,000円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

な はな
菜 の 花

温暖な気候の伊勢志摩地方では、年頭から菜の花が咲き始めます。
白餡のそぼろを菜の花の色に染めて粒餡を包み、春景色を表現しました。

うめ
梅 ご よ み

寒い中にも、春の訪れを告げる梅の花の頃です。
薄紅色のかるかんで白小豆を散らした羊羹を巻きました。
あちらこちらで咲く、梅の花の情景が思い浮かべられます。

つばき
椿 餅

「源氏物語」の中にもその名が見受けられる椿餅です。
桂皮(けいひ:シナモン)が香る道明寺でこし餡を包み、椿の葉で挟み
ました。ほのかな香りをお楽しみください。